

日本の戦後の経験
を活かし、
ザンビアの農村
地域で展開

妊産婦と女性の 健康と命を守る 活動

公益財団法人ジョイセフ
開発協力グループ 吉留桂



ジョイセフについて

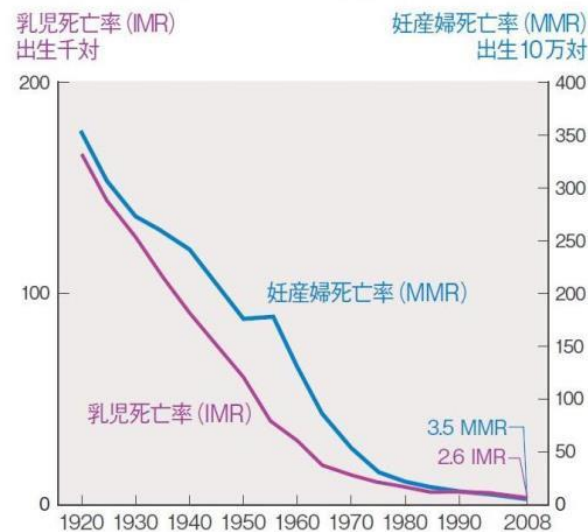
- ◆ 1968年設立の日本生まれのNGO（創立50周年）
- ◆ 日本の戦後の家族計画・母子保健の経験を途上国へ
- ◆ MDGsからSDGs達成へ



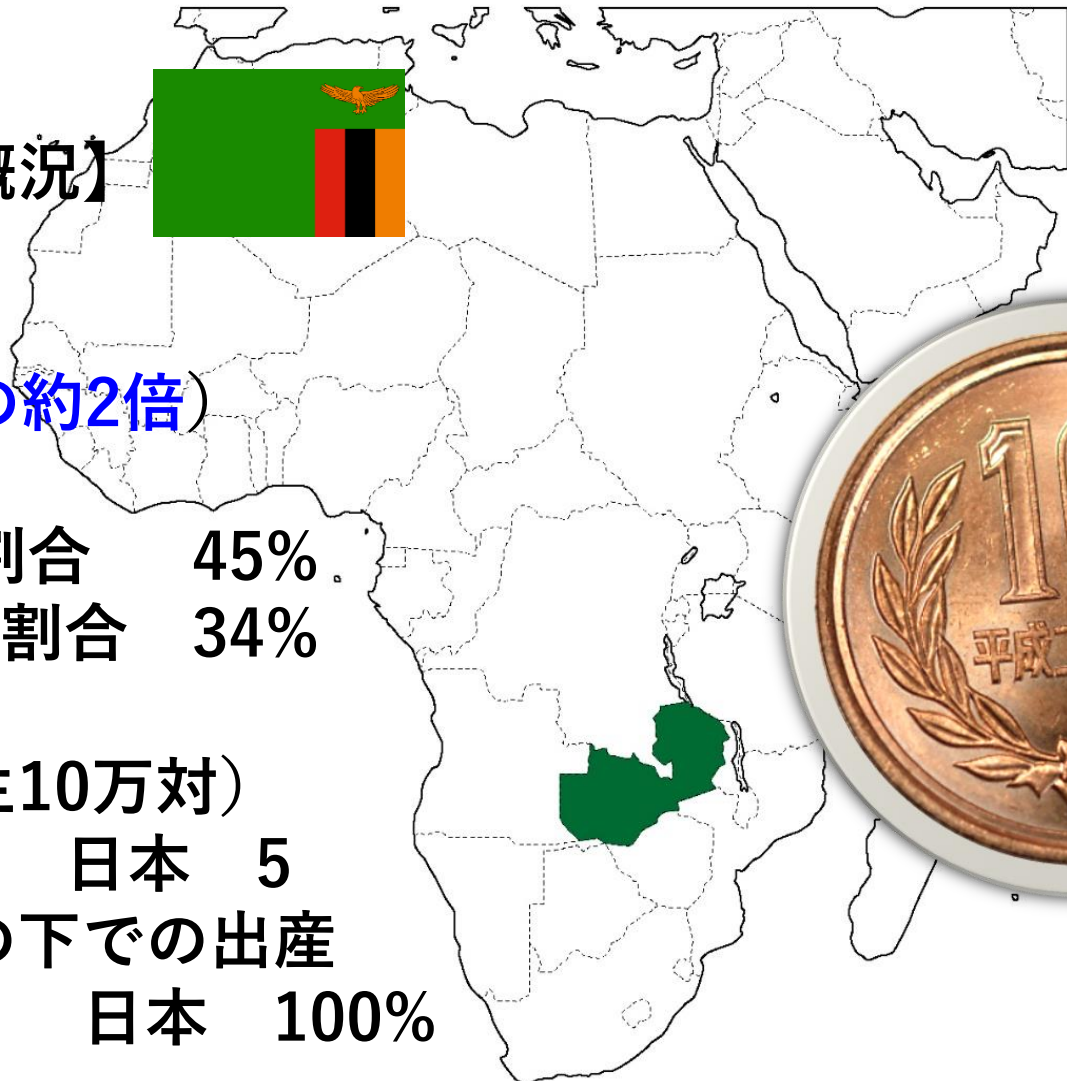
- ◆ SDGs市民社会ネットワークでは、ジェンダーユニットを牽引



乳児死亡率／妊産婦死亡率(日本)2008年



【ザンビア共和国 概況】



- 面積：
752,614km²（日本の約2倍）
- 人口： 1,710万人
 - 0-14歳の人口の割合 45%
 - 10-24歳の人口の割合 34%
- 首都 ルサカ
- 妊産婦死亡率（出生10万対）
ザンビア 224 日本 5
- 専門技能の立会いの下での出産
ザンビア 63% 日本 100%



ジョイセフ
JOICFP

世界の妊産婦と女性を守る





農村地域の 女性をとりまく現状

- ◆ 電気や水道が未整備
- ◆ 病院・クリニックの不足
- ◆ 保健医療従事者の不足
- ◆ クリニックまでの距離
- ◆ 病院への搬送手段なし



ザンビアの農村地域で展開している

『妊産婦・新生児保健ワンストップサービスプロジェクト』

MALE INVOLVEMENT FOR IMPROVED SAFE MOTHER HOOD



期間：3年間（2014年12月～2017年11月）

対象地区：コッパーベルト州マサティ郡5地区・ムポングウェ郡5地区

協力：外務省日本NGO連携無償資金協力



One Stop!

One stop service site

ザンビアの農村地域で展開している 『妊産婦・新生児保健ワンストップ』

MALE INVOLVEMENT FOR IMPROVED SAFE MOTHER HOOD



Midwife



Maternity Ward

Maternity
Waiting
House



Youth Center

Peer educator

Health



SMAG

SMAG

LSC members



One Stop!

One stop service site

【リプロダクティブ・ヘルスサービスの質の向上】

住民参加型アプローチ：

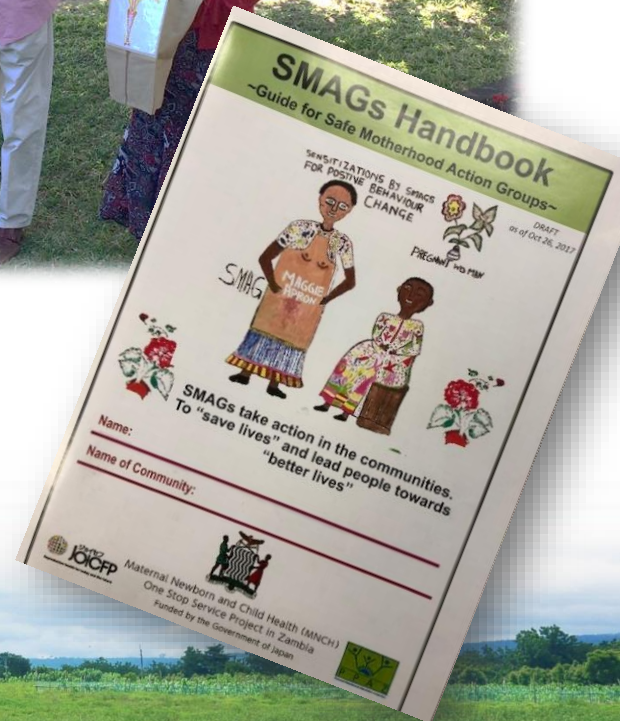
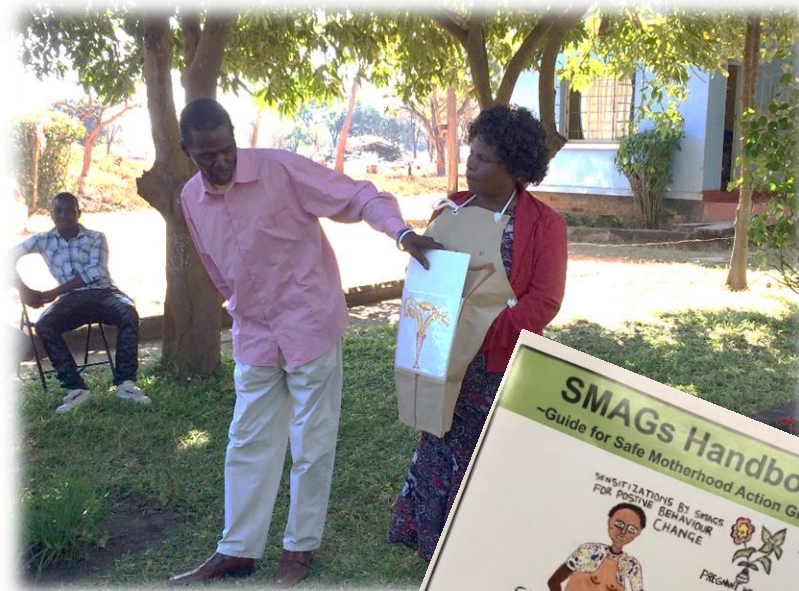
マタニティハウス&ユースセンターづくり⇒**参画型** =オーナーシップの強化



住民のペインティングによる
マタニティハウス

【人材育成とコミュニティでの健康教育活動】

300人の保健ボランティアと60人の若者ピアエデュケーターの育成
月経や妊娠・出産にかかわる教育教材の制作



ジョイセフ
JOICFP

世界の妊産婦と女性を守る



【人材育成とコミュニティでの健康教育活動】

保健医療従事者の研修



出産計画を一緒に作る
看護師と妊婦

世界の妊産婦と女性を守る

Since 1968



【住民参加から住民主体へ】

プロジェクト運営委員会の活性化
健康教育（ヘルスプロモーション）の促進
コミュニティによる活動計画の策定



プロジェクト地区運営委員会メンバー
と話し合い



州保健局から寄贈された救急車



【住民参加から住民主体へ】

住民による収入創出活動事例：
メイズ粉（ザンビアの主食の原料）の栽培～精粉



ジョイセフ
JOICFP

世界の妊産婦と女性を守る



【住民参加から住民主体へ】

住民主体による活動事例：

既存の施設を再利用してマタニティハウスに改修



ジョイセフ
JOICFP

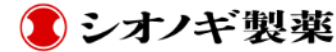
世界の妊産婦と女性を守る



【パートナーシップ】

14の企業・団体による連携協力

- ①安心できる水の確保（水タンクの設置）
- ②灯りの下で出産（ソーラーパネルの設置）
- ③人力発電自転車の提供（夜間の照明や妊婦さんの搬送に利用）
- ④人材育成研修の実施
- ⑤縫製スキル向上で収入創出活動
- ⑥小規模ビジネス、収入創出活動への技術指導



Theory



SHISEIDO



LUMINE

TERUMO FOUNDATION
for LIFE SCIENCES and ARTS



【思春期保健活動】 小学校でスポーツ大会と月経教育

- ・ 若者ピアエデュケーターによる月経教育
- ・ 綱引き・2人3脚・リレーなど
- ・ ランガールズ支援によるランニングTシャツとスニーカーの寄贈



【持続可能性と普遍性】

マタニティハウス建設における日本からのインプットの変化

2011
Fiwale



2013
Mukolwe



2015
Mutaba



2016
Kalweo



2016
Kambowa



2017
Mikata



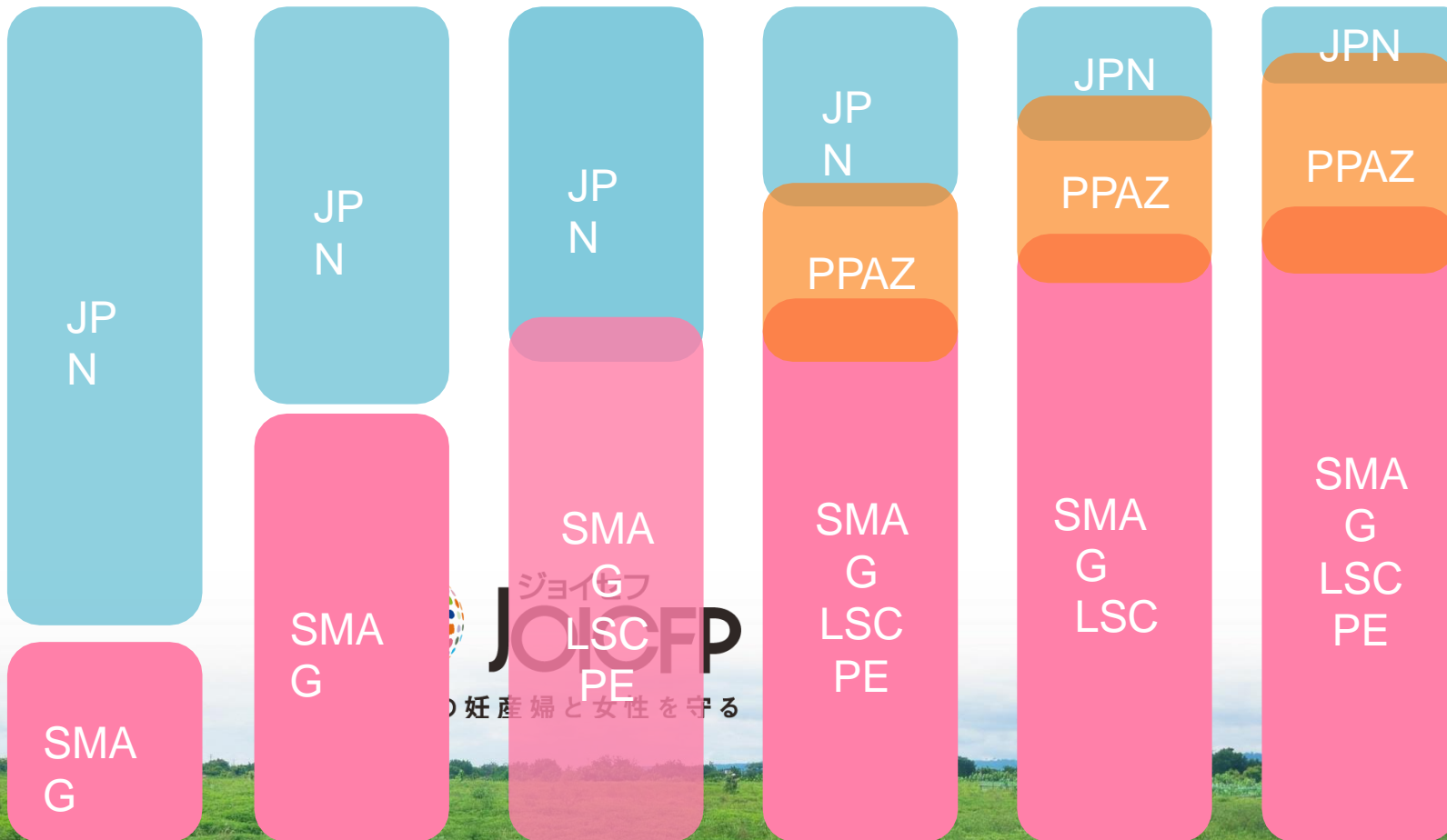
企画・計画

参加型ワークショップ

デザイン

下書き

ペイント



ジョイイフ J Joyif
LSC PE
の妊産婦と女性を守る

【主な活動成果】

- 保健施設での出産の割合
27.5% → **42.9%**
- 4回の産前健診
37.2% → **60.3%**
- 6日以内の産後健診
22.8% → **60.9%**
- 家族計画実行率
40% → **78.9%**
- 保健ボランティアと若者エド
ケーターによる啓発活動により、
情報にアクセスできた人
→ **90万人**



ジョイセフ
JOICFP

世界の妊産婦と女性を守る

Since 1968



MATERNITY
WAITING HOUSE



どうもありがとうございました